

須磨海浜水族園・海浜公園再整備事業 提案書(公募設置等計画)の概要



<コンセプト>

アーバンコミュニティパーク
【地域のQOL向上】

六甲山/松林
ローカル
日常/リラックス
カジュアル

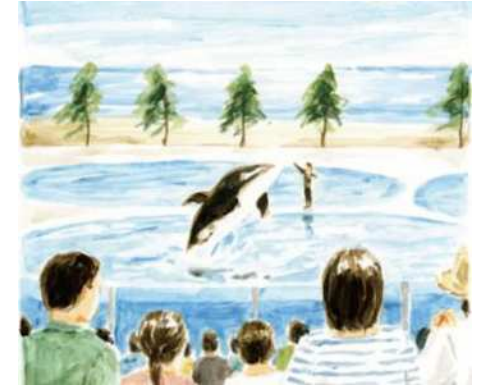
「つながる」海浜リゾートパーク

神戸須磨

Parks + Resorts

テストディネーションリゾート
【観光集客】

瀬戸内海
グローバル
非日常/アクティブ
プレミアム



① 園地・にぎわい施設

2023年9月供用開始予定

**歴史ある松林を保全・活用・育成し、
魅力ある水族館を核とした市民の誇り
となる「須磨海浜公園」の創造**

【園地】エリア面積: 48,100㎡
【にぎわい施設】延床面積: 2,012㎡

・パークコンシェルジュ棟(管理事務所、歴史
ギャラリー、多目的ギャラリー)、多目的広場、
芝生広場、子供向けアート道具、健康道具等

【にぎわい施設】

A棟: 子育て支援・知育スタジオ、ブック&カフェ
B棟: キャンプ体験レストラン、グランピング等
C棟: レストラン、カフェ等

④ 駐車場

2023年5月供用開始予定

立体駐車場A 716台 延床面積: 15,715㎡
平面駐車場B 344台
平面駐車場C 50台
合計 1,110台

駐車料金	平日	土日祝日、GW、海水浴期間
1時間	400円/最初 200円/以降	500円
最大料金	700円	—

初期投資 370億円 経済波及効果 年間323億円



② 水族館

2024年3月末供用開始予定

『つながる』エデュテイメント水族館

区域面積: 25,261㎡ 延床面積: 22,271㎡
総水量: 14,528t

- ・オルカ(シャチ)スタジアム、イルカスタジアム、
アクアライブの3棟で構成
- ・西日本唯一のシャチ展示と
ダイナミックなパフォーマンス
- ・地域の生態・原風景から太平洋・サンゴ礁など
多様な海洋展示とアシカ、ペンギン、カメ等を
展示するアクアライブ棟
- ・神戸保全繁殖センターの設立

料金表 (抜粋)	シニア (60歳以上)	大人 (高校生以上)	小人 (小・中学生)	幼児 (4～6歳)
一般	2,500円	3,100円	1,800円	
市内	-	-	500円 (年1回)	0円 (年1回)
学校団体	-	1,550円	900円 (市内団体 無料)	
障がい者	-	1,200円	650円	

■集客目標 開業年250万人、安定年200万人

③ 宿泊施設

2024年3月末供用開始予定

海への旅にぎなう価値体験型ホテル

- ・7階建て 80室 延床面積: 7,312㎡
- ・全室オーシャンビュー
- ・ドルフィンラグーン併設(日本初)

<構成団体(7社)>

(株)サンケイビル 三菱倉庫(株) JR西日本不動産開発(株) (株)竹中工務店
芙蓉総合リース(株) 阪神電気鉄道(株) (株)グランビスタ ホテル&リゾート

<協力者(3社)>

阪神園芸(株) 浅井謙建築研究所(株) (株)E-DESIGN

※以上はすべて事業者からの提案内容であり、今後事業者と協議の上、変更されることがあります。

配置図



事業イメージ



事業区域全景



北側(国道2号線)からの眺望 ※施設名称は仮称



新水族館 施設配置



新水族館 イメージ



新水族館 イメージ



新水族館 イメージ



新宿泊施設 外觀



新宿泊施設イメージ



公園(園地)イメージ



公園(園地)イメージ



公園(にぎわい施設)イメージ

講評

本事業には、約4ヶ月という公募期間の中で、2グループからの提案提出があった。いずれも市民および観光客双方にとって海浜公園が魅力的な場所となる、見ごたえのある内容であった。

2グループからのプレゼンテーション及び質疑応答、選定委員による審議を経て、須磨海浜水族園・海浜公園再整備事業者選定委員会として「神戸須磨 Parks + Resorts 共同事業体」を優先交渉権者候補者（設置等予定者候補者）に選定した。

以下に、選定理由を示す。

実施体制及び全体の整備・運営計画について

- ・整備から運営に至る体制が明確で、安定した事業実現が見込まれる。
- ・代表構成団体が属する大手メディアグループ、および構成団体である鉄道系企業による、効果的な情報発信や誘客が期待できる。
- ・市が求める「須磨海浜公園エリア全体の魅力を向上させる」ための明確な事業コンセプトと、それを具現化する仕組みが提案されていた。

施設ごとの整備・運営計画

（園地）

- ・松林について、維持管理における具体的な提案が示されている。
- ・多様な市民が健康づくりに取り組むことができる、ソフト、ハード両面での提案があった。
- ・一般公園利用者が多目的に利用でき、また当地の歴史等も展示する施設が計画されるなど、地域コミュニティの継承と創造の提案が示されている。

（水族館）

- ・幅広い生物展示及び体験プログラムに加え、強い集客力を持つシャチのパフォーマンスが提案されており、年間200万人の集客目標の達成が期待できる。
- ・集客数が低迷した場合の水族館への大規模追加投資案など、事業全体の集客維持に向けた提案があった。
- ・各分野の研究者と連携した「神戸保全繁殖センター」の設立によって、研究活動を基にした種の保存や教育といった、水族館の果たす社会的役割が期待できる。
- ・海を望むようにショースタジアムが配置されるなど、周辺環境を活かした施設配置となっている。

(宿泊施設)

- ・水族館併設ならではの機能を有し、市内の他の宿泊施設との差別化が図られている。
- ・海への眺望を確保した施設配置や、客船をモチーフとした外観デザインなど、須磨エリアの特色を施設の魅力に取り入れている。
- ・全国で展開している自社グループのホテルとの相乗効果が期待できる。

(にぎわい施設)

- ・子育て世代が親子で楽しめる、魅力的な施設の提案があった。
- ・木質系の外装デザイン（アースカラー）で統一されるなど、景観への配慮が見られる。

以上

主な付帯意見

- ・魅力創造委員会について
魅力創造委員会が活動体としても十分に機能するよう、構成及び運営を検討すること。
- ・市民に開かれた施設の整備、運営について
地域の方がより使いやすい施設内容と、多様な地域コミュニティやテーマ・コミュニティと連携できる運営手法を検討すること。
- ・施設間の南北動線について
水族館と宿泊施設との間の南北動線などについて、単なる通路としてではなく、海とのつながりを意識し、そこを通りたくなるような工夫を検討すること。
- ・水族館のオープンスペースの活用について
海に見える丘広場が一般の方にも更に利用されるような開放・活用の方法を、水族館区域の形状変更の可能性も含めて検討すること。
- ・水族館のコンセプトについて
神戸・須磨の独自性を備え、他園館と明確に異なるオンリーワンの水族館となるように、施設名称や展示内容を更に検討すること。
- ・円滑に運用される駐車場について
より利用者が使いやすい駐車場となるよう整備、運営を検討すること。

以上